社会政策学会第146回大会・自由論題応募用紙

【応募資格】　自由論題への応募は、下記のいずれかに該当する会員〔予定者〕に限ります。該当する記号を□で囲んで下さい。（BとCには入会申し込み時期を明記して下さい。）

A.　2022年4月発行の学会員名簿に掲載されており、2022年度までの会費納入済み（未納なし）。

B. 2022年4月発行の学会員名簿には掲載されていないが、（　　　　）年（　　）月に入会し、2022年度までの会費納入済み（未納なし）。

C.　（　　　　）年（　　）月に入会申請を行った。

注:　非会員は自由論題の報告者に応募できません。また審査の上、採択されれば、自由論題の報告のキャンセル・取り下げは原則としてできませんので、ご注意ください。

**【対面開催を予定していますが、急遽オンライン開催に変更された場合のために、以下の項目をご確認いただき、チェック（☑）の上、ご応募ください】**

□　今回の大会はオンラインで、Zoomにて報告・質疑応答となる可能性を了解しています。

□　webカメラ、音声、ネット環境を応募者の責任で整えます。

□　通信環境・操作に関するリハーサルに参加します。

□　期日までにフルペーパーを提出します。

□　トラブル対応に備えて、zoom報告・質疑応答を録画することに同意します。

|  |  |
| --- | --- |
| 論　題  （日本語） |  |
| 報告要旨  （400字程度） |  |
| 氏　名※1 |  |
| 専門分野コード（該当する分野１つを○　で囲んで下さい） | １．労使関係・労働経済　　　２．社会保障・社会福祉  　３．労働史・労働運動史　　　４．ジェンダー・女性  　５．生活・家族　　　　　　　６．その他 |
| 所属機関　※2 |  |
| ポジション　※3 |  |
| 大会若手研究者優秀賞対象者の確認※4 | 下記のいずれかひとつに〇をつけてください。  若手研究者の範囲は，次のいずれかに該当する者とする．  １．大学院在籍中の者．但し，期間の定めのない教育・研究職についている者を除く．  ２．期間の定めのない教育・研究職についていない者．但し，大学院退学・修了者のうち、修士課程入学後 15 年以内の者．  ３．期間の定めのない教育・研究職についてから 3 年以内の者．但し，大学院退学・修了者のうち，修士課程入学後 15 年以内の者． |
| 連 絡 先 | **報告当日、座長や技術スタッフと連絡がとれる電話番号をご記入ください。**  **Zoom登録をしている場合は、Zoomのアカウントと同じアドレスを書いてください。** |
| 【TEL】 |
| 【E-Mail】 |
| 『社会政策学会』誌への投稿予定 | 該当する項目に〇をつけてください。（〇は一つだけ）  \*編集委員会としては、ご投稿を推奨いたします。   1. ある 2. ない 3. 未定 |
| ENGLISH  Title |  |
| Abstract  （日本語要旨に相当する程度） |  |
| Name |  |
| Affiliation※2 |  |
| Position　※3 |  |

※1　当日登壇する方の氏名にのみ、下線を引いてください。なお、当日登壇できるのは会員のみです。

※2　応募時点の所属機関をご記入ください。

※3　応募時点のポジションをご記入ください。「ポジション」とは、大学院生・研究員・助教・准教授・教授・名誉教授などを指します。

※4　2019年10月19日より施行された大会若手研究者優秀賞の対象者を確認するために設けられた項目です。応募時点で該当する番号に〇をつけてください。対象者には、後日、所属等の確認のための書類を提出していただく可能性があります。